

2010年7月7日

司法試験委員会 御中

中央大学法科大学院教授会

## 平成23年新司法試験の実施日程等に関する意見

平成22年6月16日付けにて貴委員会より示されました平成23年新司法試験の実施日程等について、中央大学法科大学院教授会の意見を下記のとおりお知らせ致します。

## 記

賛成である。理由は以下のとおりである。

- ① 4時間の試験ではなかなか集中力が続かず、体力的に劣る者に不利になると思われる。
- ② 4時間連続で2科目を解答する方式では時間配分が難しく、時間切れのために最後の方の設問にまともな解答が書けない者がかなり出てくる。
- ③ 民事系3分野のうちの2分野の出題を結合する方式には、総合的な出題を行うという新司法試験にふさわしい側面があるとはいえ、共通の事案に縛られて出題の自由度が制約されるという好ましくない傾向もあった。

なお、以下のような意見があったので、付記する。

- (1) 制度等の変更によって、受験者の負担を増やさないように注意されるべきである。
- (2) これを機に、従来にも増して基本的で素直な内容の良問を出すよう心がけてほしい。
- (3) 制度等の変更にあたっては、その理由をなるべく明確にしてほしい。
- (4) 出題の内容についてどの程度の変化が生じうるのか、これまでの方針に変更があるのか等について、なるべく明確な説明を行ってほしい。

以上